

コミセン祭り



【正保学区】

■世帯数：2,925 世帯

■人 口：7,407 人

■面 積：0.895 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 正保コミュニティーセンターを会場に、日頃の稽古や練習の成果を年に 1 回発表する場として「コミセン祭り」を開催。延べ参加者数は約 250 人。
- ・ 出演希望グループの受付、演目を決定し、プログラムの作成準備、舞台セッティングの工程表の作成、出演者との打合せ、学区内での PR を経て開催。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示

【アピールポイント】

参加した人たちがみんな喜びと達成感から、「次年度はこうしよう」と新しい挑戦意欲が生まれてきた。

2 きっかけ、背景

日頃コミュニティーセンターを利用し、活動する地域の人たちから、発表の場を持ちたいとの要望があり、コミセン祭りを開始した。世代間の交流促進を図るため、正保小学校金管バンドや地元の大治太鼓正徳教室なども交えて、幼児・学童の保護者にも参加の機会を設けている。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員 計約 25 人

(2) 他団体との協力

正保小学校金管バンド、港北中学校吹奏楽部

(3) 運営協力

子ども会リーダーの協力、小中 PTA の協力により、将来地域の後継者につながるものと期待している。

4 実施のスケジュール

H23 年 5 月 区政協力委員により骨子決定

7 月 出演希望の受付

9 月 申込グループ責任者と打合せ

運営メンバーの役割分担の決定
10 月 プログラムによる出演者との調整

11 月 「コミセン祭り」20 日に実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

参加者が増加し、住民意識が高まり、交流も深まった。小学生・中学生・大人と各世代にわたり出演するため、地域の盛り上がりにも効果があった。

(2) 苦労した点

活動の担い手が不足している。会場が狭く出演者の控え室などがないため、小学校体育館への移動も考えた。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続、担い手の世代交代が課題。次世代に引き継がれるよう、若い世代を取り込んで行きたい。

(4) メッセージ・アドバイス

年 1 回ではあるが、企画運営には種々苦労する。平成 24 年度で 12 回目となるが、成功した喜びと満足感が次へのステップになる。まず実行してみることが大切。

